

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	有	
体育学部	教授	前島悦子			
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要		
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)					
私製の講義資料作成・配布	2013年～	講義テーマごとに資料を作成・配布し、学生の理解度を高める。大講義において授業評価を行っている。			
図を用いた視覚的教材の作成	2013年～	図を作成し示すことによって理解度を高める。			
リアルタイムの遠隔授業、オンデマンド授業	2020年～	コロナ禍において感染拡大防止のため左記のツールを用いた遠隔授業を行った。			
2 作成した教科書、教材、参考書					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
4 その他教育活動上特記すべき事項					
体力若返り講座開催	2013年～現在	健康スポーツコース所属学生の実践的教育を実施するため地域住民を対象として年間約6ヶ月間の「体力若返り講座」を開催(責任者)。			
II 研究活動					
著書(単著)					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
著書(共著・分担執筆)					
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
やさしい高次脳機能障害用語辞典	種村純		ばーそん書房	東京	平成31年1月
原著論文(審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)					
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
Hyposalivation in autoimmune diseases	Maeshima E, Furukawa K, Maeshima S, Koshiba H, Sakamoto W	Rheumatol Int	33	3079-3082	平成25年(2013)
投擲競技およびそれに伴うトレーニングが動脈ステイフネスに及ぼす影響	小芝裕也、前島悦子	日本臨床スポーツ医学会誌	21	643頁～649頁	平成25年(2013)
自転車運動中の音楽刺激が生理学的反応および主観的運動強度におよぼす影響	今西平、小芝裕也、前島悦子	身体運動文化論攷	11	133頁～152頁	平成25年(2013)
A simple test for salivary gland function measuring resting and stimulated submandibular and sublingual secretions	Kanehira T, Hongou H, Asano K, Morita M, Maeshima E, Matsuda A, Sakamoto W	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol	117	197-203	平成26年(2014)
Residual salivary secretion ability may be a useful marker for differential diagnosis in autoimmune diseases	Maeshima E, Koshiba H, Furukawa K, Maeshima S, Sakamoto W.	Dis Markers	doi: 10.1155/2014/534261	2014:534261	平成26年(2014)
「体力若返り講座」の効果検証:健康維持・増進における高齢者の自立を目指して	友金明香、池島明子、前島悦子、奥村友香、熊崎敏真、三島隆章、松村新也、岡村浩嗣、滝瀬定文、浜田拓	大阪体育大学紀要	47	55頁～69頁	平成28年(2016)
The relationship between arterial stiffness and the lifestyle habits of female athletes after retiring from competitive sports: a prospective study	Koshiba H, Maeshima E, Okumura Y.	Clin Physiol Funct Imaging	37	474-480	平成29年(2017)
Influence of detraining on temporal changes in arterial stiffness in endurance athletes: a prospective study.	Koshiba H, Maeshima E	J Phys Ther Sci	27	3681-3684	平成29年(2017)
Cognitive function in middle-aged and older adults participating in synchronized swimming-exercise	Maeshima E, Okumura Y, Tatsumi J, Tomokane S, Ikeshima A.	J Phys Ther Sci	29	148-151	平成29年(2017)
Effect of color on the athletic performance of short-distance runners	Fujii T, Nakano H, Wakita M, Maeshima E	J Athl Enhanc	doi: 10.4172/2324-9080.1000276	6:06	平成29年(2017)

Effects of exercise intervention on arterial stiffness in middle-aged and older females: evaluation by measuring brachial-ankle pulse wave velocity and cardio ankle vascular index.	Koshiba H, Maeshima E	J Phys Ther Sci	31	88-92	平成31年(2019)		
Acute effects of moderate-intensity cycling exercise on endothelial function in young healthy men: An investigation using the reactivhyperemia index.	Koshiba H, Maeshima E	Technol Health Care	29	317-322	令和3年(2021)		
A Study of Changes of Physical Functions According to Chages in Cognitive Functions in Community-Dwelling Elderly People Who Participated in an Exercise Program.	Kimura N, Maeshima E, Tomokane S, Ikeshima A, Maeda M, Takimoto M, Mishima T	J Sports Sci Med	20(3)	474-481	令和3年(2021)		
An Experimental Feasibility Study Evaluating the Adequacy of a Sportswear-Type Wearable for Recording Exercise Intensity.	Yoshihiro Marutani, Shoji Konda, Issei Ogasawara, Keita Yamasaki, Teruki Yokoyama, Etsuko Maeshima, Ken Nakata	sensors	22	2557	令和4年(2022)		
Olfactory identification ability in patients with mild cognitive impairment and Alzheimer's disease.	Yoshitake M, Maeshima E, Maeshima S, Osawa A, Ito N, Ueda I, Kamiya M.	J Phys Ther Sci	34	710-714	令和4年(2022)		
Physical function and health-related quality of life of community-dwelling older adults with locomotive syndrome and pre-frailty.	Yokota A, Maeshima E, Maeshima S, Ooi T, Sasaki K.	J Phys Ther Sci	34	440-444	令和4年(2022)		
Association between cognitive function and olfactory identification ability in community-dwelling older individuals.	Yoshitake M, Maeshima E, Maeshima S, Sasaki K, Osawa A.	J Phys Ther Sci	34	459-462	令和4年(2022)		
Physical functions associated with health-related quality of life in older adults diagnosed with knee osteoarthritis.	Yokota A, Maeshima E, Sasaki K, Ooi T, Sainoh T, Hosokawa H.	J Phys Ther Sci	35	60-65	令和5年(2023)		
Gaussian mixture modeling of acceleration-derived signal for monitoring external physical load of tennis player	Yoshihiro Marutani, Shoji Konda, Issei Ogasawara, Keita Yamasaki, Teruki Yokoyama, Etsuko Maeshima, Ken Nakata	Front Physiol	14	doi.org/10.3389/fphys.2023.1161182	令和5年(24, Maech, 2023)		
総説							
題名		著者		誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月
挙児希望患者の関節リウマチ治療(解説/特集)		前島悦子、古川加奈子		日本臨床最新関節リウマチ学-寛解・治癒を目指した研究と最新治療	72	752頁~753頁	平成26年(2014)
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)							
区分	題名	著者		誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月
症例報告	A case of fibromyalgia syndrome with anaohylaxis induced by intradermal injection of purified protein derivative	共	Maeshima E, Furukawa K	Mod Rheumatol	23	593頁~596頁	平成25年(2013)
症例報告	エタネルセプト投与下で妊娠・出産した関節リウマチの一例	共	古川加奈子、前島悦子、一ノ瀬正和	日本臨床免疫学会誌	36	47頁~51頁	平成25年(2013)
	大阪体育大学診療所の現状と課題(解説)	共	森北育宏、前島悦子、古屋桂子、栗谷健礼、魚田尚吾	大阪体育大学紀要	45	121頁~127頁	平成26年(2014)
	関節リウマチの治療について-生物製剤を中心に-	単	前島悦子	海南医師会誌	42	64頁~65頁	平成26年(2014)

症例報告	口腔衛生と関節リウマチ	単	前島悦子	流		14頁～20頁	平成26年(2014)
	2016年度大阪体育大学スポーツ科学センター活動報告	共	渡邊有実、前島悦子、足立哲司、有吉晃平、石川昌紀、植木章三、岡村浩嗣、木嶋孝太、木村彩、菅生貴之、曾根純也、曾根裕二、高本恵美、友金明香、中井俊行、藤井均、松田基子、三島隆章、梅林薫	大阪体育大学紀要	48	125頁～136頁	平成29年(2017)

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国際学会	平成31年(2019)4月8日～11日	21st Asia Pacific League of Associations of Rheumatology Congress	Mild cognitive impairment in elderly patients with rheumatoid arthritis	Brisbane, Australia	Etsuko Maeshima, Kanako Furukawa, Shinichiro Maeshima
国内(シンポ)	平成26年(2014)	第69回日本体力医学会大会	体力若返り講座in大阪体育大学	長崎	前島悦子
国内(シンポ)	平成31年3月	第9回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会	透析患者の体組成・体力向上に関するテーマメイド運動プログラム	大分	前島悦子、大谷晴久、前田めぐみ、友金明香、池島明子
国内(シンポ)	平成31年3月	第9回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会	未透析CKD患者の筋肉量・筋力に及ぼすタンパク質摂取量と運動習慣の影響	大分	大谷晴久、大谷真美、林京平、栗本建也、前島悦子
国内(ワークショップ)	平成28年4月	第60回日本リウマチ学会総会・学術集会	悪性腫瘍合併関節リウマチに関する検討	横浜	前島悦子、古川加奈子、南良暢、藤井隆夫、山内康平
国内(一般演題)	平成25年4月	第57回日本リウマチ学会総会・学術集会	口腔衛生が関節リウマチの病態に及ぼす影響に関する検討	京都	前島悦子、古川加奈子、前島伸一郎、山内康平
国内(一般演題)	平成26年4月	第58回日本リウマチ学会総会・学術集会	自己免疫疾患における唾液分泌刺激反応の差異に関する検討	東京	前島悦子、古川加奈子、山内康平
国内(一般演題)	平成27年4月	第59回日本リウマチ学会総会・学術集会	関節リウマチにおけるイグランチモドの臨床効果に関する検討	名古屋	前島悦子、古川加奈子、前島伸一郎、山内康平
国内(一般演題)	平成28年4月	第60回日本リウマチ学会総会・学術集会	悪性腫瘍合併関節リウマチに関する検討	横浜	前島悦子、古川加奈子、南良暢、藤井隆夫、山内康平
国内(一般演題)	平成29年9月	第72回日本体力医学会大会	6ヶ月間の健康づくり教室が中高齢者の体力に及ぼす影響～4年間にわたる講座の成果報告～	愛媛	友金明香、池島明子、奥村友香、藤井崇子、前田めぐみ、熊崎敏真、三島隆章、岡村浩嗣、浜田拓、前島悦子
国内(一般演題)	平成29年9月	第72回日本体力医学会大会	中高齢女性における運動介入が動脈ステイフネスに及ぼす影響	愛媛	小芝裕也、前島悦子
国内(一般演題)	平成30年9月	第73回日本体力医学会大会	地域在住高齢者における認知機能と体力の関係に関する後ろ向き研究	福井	木村範子、前島悦子、友金明香、池島明子、前田めぐみ、瀧本昌己、三島隆章、熊崎敏真、浜田拓、岡村浩嗣
国内(一般演題)	平成30年9月	第73回日本体力医学会大会	地域在住中高齢者の骨密度と体力の関連性に関する横断的研究	福井	友金明香、池島明子、前田めぐみ、瀧本真己、木村範子、熊崎敏真、三島隆章、岡村浩嗣、浜田拓、前島悦子
国内(一般演題)	平成30年6月	第63回日本透析医学会学術集会・総会	維持透析患者の体力特性と転倒リスク	兵庫	林京平、大谷晴久、芝地栄登、前田有香、谷口広子、栗本建也、児玉直也、後藤哲也、加太勇、前田明文、角門真二、柳瀬美穂、高垣裕彦、児玉敏宏、前島悦子
国内(一般演題)	平成30年10月	第37回日本認知症学会学術集会	高齢者関節リウマチにおける軽度認知障害の検討	札幌	前島悦子、古川加奈子、友金明香、池島明子、三島隆章、浜田拓、熊崎敏真、木村範子、岡村浩嗣
国内(一般演題)	令和2年9月24日～26日	第75回日本体力医学会大会	健康増進プログラムへの継続参加が地域在宅高齢者の認知機能に与える影響	Web開催	木村範子、前島悦子、友金明香、池島明子、前田めぐみ、瀧本昌己、三島隆章、熊崎敏真、浜田拓、岡村浩嗣

国内(一般演題)	令和3年9月17日 ～19日 (ライブ 配信)、9月17 日～30日 (オン デマンド)	第76回日本体力医学会大会	コロナ禍における地域在宅高齢者の日常 生活活動性と身体機能の変化について	Web開催	木村範子、前島悦子、 池島明子、友金明香、 峯田晋史郎、三井みの り、笹壁和佳奈
----------	--	---------------	---	-------	---

国内(シンポ)	2021年11月12日 ～14日	第5回日本リハビリテーション医学会、秋 季学術集会	高齢者における嗅覚同定能と認知機能の 低下	名古屋	吉武将司、前島悦子、 大沢愛子、前島伸一郎
国内(一般演題)	2021年11月12日 ～15日	第5回日本リハビリテーション医学会、秋 季学術集会	ロコモティブシンドロームにプレフレい るが合併した地域在住高齢者の特性	名古屋	横田文子、佐々木賢太 郎、前島伸一郎、前島 悦子
国内(他)	2022年11月4日 ～6日	第6回日本リハビリテーション医学会、秋 季学術集会	変形性膝関節症高齢者の健康関連Quality of Lifeに関連する身体機能の検討	岡山	横田文子、前島悦子、 佐々木賢太郎、細川ひ かる
国内(一般演題)	2022年11月12日 ～13日	第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会	加速度の分布を特徴量としたウェアラブル センサによる身体負荷評価方の提案	札幌	丸谷賢弘、近田彰治、 小笠原一生、川上諒、 横山光樹、山崎慶太、 前島悦子、田中研
国内(一般演題)	2023年3月18日 ～19日	第13回日本腎臓リハビリテーション学会 学術集会	コロナ禍における透析中のテーラーメイド 運動療法が維持透析患者の身体機能の 維持・向上に及ぼす影響		前島悦子、大谷陽久、 林京平、木村範子、友 金明香、池島明子
研究会	平成27年10月25 日	第34回石川県リウマチケア研究会	口腔衛生が関節リウマチの病態に及ぼす 影響とリスクマネジメント-リウマチ専門 医の立場から-	石川	前島悦子
研究会	令和元年5月30 日	第7回和歌山膠原病治療研究会	日常診療に潜む高齢者の関節リウマチ・ 膠原病疾患の診断とアプローチ-プライ マリから専門医まで-	和歌山	前島悦子
研究会	令和4年12月11 日	第90回和歌山透析研究会	透析中運動療法のサルコペニア改善効果 (2ヶ月以上の長期効果)	和歌山	林京平、大谷晴久、芝 地栄登、前田有香、笹 原寛、栗本建也、谷口 広子、三田裕規、川口 勝、山口伸、児玉直 也、児玉敏宏、前田明 文、前島悦子
研究会	令和4年12月11 日	第90回和歌山透析研究会	透析中の運動療法を中断した理由の検討	和歌山	三田裕規、大谷晴久、芝 地栄登、前田有香、笹 原寛、谷口広子、谷口 希、吉本静佳、前島優子、林 京平、栗本建也、児玉直 也、前田明文、児玉敏 宏、前島悦子
講演	平成25年3月4日	特定疾患医療相談会	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎の療養 生活について	和歌山	前島悦子
講演	平成25年10月7 日	ヘルスアップ応援講座	正しく知ろう！運動のキホン	大阪(田尻町)	前島悦子
講演	平成25年10月28 日	リウマチ秋の医療講演会	関節リウマチ患者さんのQOLと運動につい て	和歌山	前島悦子
講演	平成25年11月9 日	海南医師会学術講演会	関節リウマチの治療について-生物製剤を 中心に-	和歌山	前島悦子
講演	平成26年8月30 日	ノルディック・ウォークセミナーin ひまわりドーム	体力若返りとノルディック・ウォーク	大阪(熊取)	前島悦子
講演	平成26年10月4 日	日本温泉気候物理医学会2014年度近畿地 区研修会2	体力若返り講座in大阪体育大学	大阪	前島悦子
講演	平成26年10月25 日	大阪青凌中学校・高等学校教職員研修会	健康診断結果をふまえて、タバコの害 (禁煙のススメ)	大阪	前島悦子
講演	平成26年11月30 日	いつも いつもでも いきいきと！！	楽しく運動、いきいきライフ	大阪(熊取)	前島悦子
講演	平成27年1月18 日	平成26年度阪南市生涯スポーツ指導者 認定講習会	高齢者のスポーツと健康	大阪	前島悦子
講演	平成27年1月31 日	第2回大阪・奈良・和歌山地区日本リウマ チ財団登録医・ケアナース・登録薬剤師 研修会	関節リウマチと口腔乾燥症	大阪	前島悦子
講演	平成27年3月15 日	生涯スポーツ指導者研修会HASPAL (阪南市生涯スポーツ指導者クラブ)	生活習慣病とスポーツ	大阪	前島悦子
国内(他)	平成27年8月6日	アステラス製薬社内研修会	関節リウマチ治療の最前線	和歌山	前島悦子
国内(講演)	平成27年10月26 日	タピオ体操+みんなであめよう！講座	めざそう！いつもでも元気で暮らせるま ち	大阪(熊取)	前島悦子
国内(講演)	平成27年11月26 日	膠原病医療相談(海南保健所)	膠原病の理解と日常の注意点	和歌山	前島悦子

国内(講演)	平成29年2月26日	平成28年度 関西テニス協会ジュニア指導者講習会	成長期に見られる女性特有の第二次性徴について	大阪	前島悦子
国内(他)	平成31年3月12日	平成30年度 くまとりゆうゆう大学「地域活動入門講座」	フレイルに負けない健康づくり	大阪	前島悦子
国内(講演)	令和元年12月10日	難病医療相談会 膠原病	膠原病について	和歌山	前島悦子

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
外部資金	熊取町住民提案協働事業	体力若返り講座in大阪体育大学	代表	平成26年(2014)	300,000円
外部資金	中外製薬	カプサイシンとクエン酸による自己免疫疾患における唾液分泌反応の検討	代表	平成26年(2014)	200,000円
外部資金	熊取町住民提案協働事業	体力若返り講座in大阪体育大学	代表	平成27年(2015)	300,000円
外部資金	中外製薬	自己免疫疾患における口腔内衛生に関する研究活動	代表	平成27年(2015)	200,000円
外部資金	熊取町住民提案協働事業	体力若返り講座in大阪体育大学	代表	平成28年(2016)	300,000円
外部資金	中外製薬	自己免疫疾患における認知機能障害に関する検討	代表	平成28年(2016)	200,000円
外部資金	国立長寿医療研究センター	認知症患者に対する包括的リハビリテーション(リハ)モデルの構築	分担	平成28年(2016)	400,000円
外部資金	国立長寿医療研究センター	認知症患者に対する包括的リハビリテーション(リハ)モデルの構築	分担	平成29年(2017)	400,000円
外部資金	中外製薬	慢性腎不全患者の体力調査および腎不全患者に運動プログラムの開発に関する研究	代表	平成29年(2017)	200,000円
外部資金	国立長寿医療研究センター	認知症患者に対する包括的リハビリテーション(リハ)モデルの構築	分担	平成30年(2018)	500,000円
外部資金	中外製薬	透析患者の体力調査および透析患者に適した運動プログラムの開発に関する研究	代表	平成30年(2018)	200,000円
外部資金	国立長寿医療研究センター	認知症の予防、早期発見、評価、リハビリテーションの各領域に関する臨床的介入と効果の検討	分担	平成31年(2019)	500,000円
外部資金	中外製薬	透析療法中の運動療法が患者の体力・QOLにおよぼす影響に関する検討	代表	平成31年(2019)	200,000円
外部資金	中外製薬	透析患者のフレイル予防-運動療法と栄養学的アプローチの観点から-	代表	令和2年(2020)	200,000円
外部資金	中外製薬	コロナ禍における透析中のベッド上テーラーメイドエクササイズと慢性維持透析患者の身体機能に関する臨床的研究	代表	令和4年(2022)	200,000円

特許

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国

Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
昭和62年～現在	日本内科学会
昭和63年～令和3年3月31日	日本臨床免疫学会
平成元年1月～現在	日本リハビリテーション医学会
平成元年12月～現在	日本温泉気候物理医学会
平成元年11月～	日本腎臓学会
平成2年4月～現在	日本リウマチ学会
平成19年9月～現在	日本体力医学会
平成23年10月～現在	日本臨床スポーツ医学会
平成28年5月～現在	日本高血圧学会
平成29年12月～現在	日本腎臓リハビリテーション学会
令和元年7月～現在	日本サルコペニア・フレイル学会
社会的活動	
平成2年9月～現在	日本内科学会認定内科医
平成4年1月～現在	日本リハビリテーション医学会認定臨床医
平成4年6月～現在	日本リウマチ財団登録医
平成4年12月～現在	日本内科学会認定内科専門医(現 日本内科学会総合内科専門医)
平成5年6月～現在	日本温泉気候物理医学会温泉療法医

平成6年3月～現在	日本リウマチ学会認定医
平成10年10月～現在	日本体育協会公認スポーツドクター
平成12年9月～現在	日本内科学会近畿地方会評議員
平成16年4月～現在	日本リウマチ学会評議員
平成17年3月～現在	日本リウマチ学会指導医
平成22年5月～現在	日本医師会認定産業医
平成23年4月～平成25年3月	大阪府スポーツ振興審議会委員
平成23年4月～平成28年3月	学校法人浪商学園産業医
	大阪体育大学学校医
平成25年4月～平成26年3月	和歌山県体育協会スキー連盟スポーツ医・科学部会 副部会長
平成26年4月～現在	和歌山県体育協会スキー連盟スポーツ医・科学部会 部会長
平成26年4月～現在	学校法人浪商学園大阪体育大学学校医
平成28年4月～現在	和歌山県体育協会スポーツ医・科学委員会 委員
平成29年5月～令和元年(2019年)5月18日	日本温泉気候物理医学会認定委員会 委員
令和元年(2019年)5月19日～現在	日本温泉気候物理医学会監事
令和2年～現在	公益財団法人フィットネス21事業団 評議員
令和2年(2020年)11月13日～現在	サルコペニア・フレイル指導士
平成25年2月	OUHSスポーツキャンプ2013健康増進(平成25年3月2日)
平成26年2月	OUHSスポーツキャンプ2014健康増進(平成26年3月1日)
平成27年2月	OUHSスポーツキャンプ2015健康増進(平成27年2月28日)
平成27年8月	平成27年度全国高等学校総合体育大会会場ドクター(平成27年8月4日) バレーボール・舞洲アリーナ
平成28年2月	OUHSスポーツキャンプ2016健康増進(平成28年2月27日)
平成28年6月	FIVB男子バレーボールワールドリーグ2016大阪大会会場ドクター 大阪市中央体育館
平成29年2月	第72回国民体育大会冬季大会(ながの銀嶺国体)女子大回転出場(平成29年2月16日) 長野県
平成29年2月	OUHSスポーツキャンプ2017健康増進(平成29年2月25日)
平成29年10月	愛媛国体和歌山県体育協会本部帯同ドクター 愛媛県
平成30年3月	OUHSスポーツキャンプ2018健康増進(平成30年3月3日)
平成30年10月	福井国体和歌山県体育協会本部帯同ドクター 福井県
平成31年2月	OUHSスポーツキャンプ2019健康増進(平成31年2月24日)
IV 管理活動	
期 間	内 容
委員会活動	
平成25年4月～平成27年3月	大学評議会委員、施設検討委員会委員、健康管理委員会委員長、診療所運営委員会委員、基本問題検討会議委員、学科連絡会議委員、入試委員会委員、カリキュラム委員会委員、研究委員会委員、健康スポーツコースコース長、研究系長(運動生理系)
平成27年4月～平成28年3月	研究倫理審査委員会委員、健康管理委員会委員、研究倫理教育推進委員会委員長、基本問題検討委員会委員、人事委員会委員、入試委員会委員
平成28年4月～平成29年3月	研究倫理審査部会部会長、研究倫理教育推進部会部会長、スポーツ科学センター運営審議会委員、スポーツ科学センター委員会委員、スポーツ医・科学サポート部会部会長、基本問題検討会議委員、人事委員会委員、入試委員会委員(AO入試実施部会部会長)
平成29年4月～平成30年3月	大学評議会委員、役員会委員、自己点検・評価委員会委員、危機管理委員会委員、将来構想検討委員会委員、総合評価制度部会部会長、全学予算委員会委員、全学FD委員会委員、研究公正委員会委員、研究倫理教育推進部会部会長、全学入試委員会、施設検討委員会委員、DASH運営審議会、スポーツ科学センター運営審議会委員、スポーツ科学センター委員会委員、ハラスメントの防止等専門委員会委員、個人情報保護委員会委員、健康管理委員会委員、人事委員会委員、入試委員会委員(AO入試実施部会部会長)
平成27年4月～平成29年3月	大学院スポーツ科学研究科 副研究科長
平成28年4月～平成30年3月	スポーツ科学センター 副センター長
平成29年4月～令和3年3月31日	大学院スポーツ科学研究科 研究科長
令和3年4月～	大阪体育大学 副学長、国際交流センター センター長

特別プロジェクト活動

平成25年4月～現在 特色あるプロジェクト研究「体力若返り講座in大阪体育大学」

V クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	競技スキー部	2. 役職	2009年～2021年部長・監督	3. 部員数	2～3 人
4. 現場指導の頻度	④ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	0 回	延べ日数：	0 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	③ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	③ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	④ ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		
10. クラブ戦績 (全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)					
開催期間	大会名	成 績	場 所		
平成25年3月8～13日	第83回全関西学生スキー選手権大会	クロスカントリースプリント1位、3位 クラシカル10km2位、アルペンGS1位、SL1位、4位	新潟県・赤倉		
平成26年3月9～14日	第84回全関西学生スキー選手権大会	アルペンGS1位、SL1位	長野県・野沢		

VI 賞罰（職務に関する賞罰）

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考